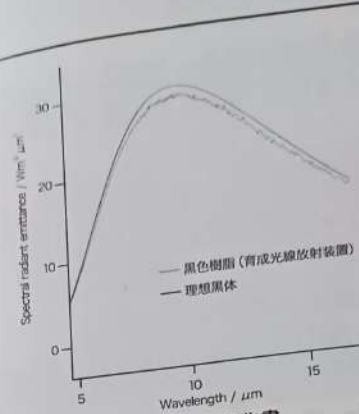


育成光線放射装置を活用した「育成光線農法とは」

育成光線とは

育成光線については本誌の2月号で詳しくご案内したところですが、要点を簡単にまとめます。

太陽からの赤外光である遠赤外線波長帯のうち4〜14ミクロン領域の波長を育成光線と呼びます。この波長帯は作物の成長を促進し、品質を向上させます。又超微細振動エネルギー体でもあり、その振動数はなんと一秒間に100兆回にもなります。この育成光線波長を水に作用させると、水は瞬時に



某調査会社の報告書

0.276nmという超微細な水分子になり、この水は植物の細胞膜をも通します。更に超微細な水分子は自動的にマイナスイオンを帯電したマイナスイオン水になります。

育成光線農法とは

昔から農業は苗半作と言われてきました。先人達はがっしりとした苗作りが増収につながることを知り、頑張ってきました。その結果が今日の日本農業を支えているのも事実です。しかしながら環境の変化等により徐々に農業が難しい時代になってきました。街には色々な農業資材があふれており、それらについて批判はしませんが、もう少し美味しく、人と環境に優しい農業はできないのでしょうか？

『育成光線農法』はそんな時代にあった農法だと自負しており、日本農業再生の為に『育成光線農法』を提唱させていただきます。『育成光線農法』は家庭菜園から大農場主まで誰にでも、何時でも、どこでも出来る簡単な農法です。



育成光線放射装置

育成光線農法の手順、その効果

全ての作物は遺伝子(DNA)によって生育しています。育成光線水を使ってタネの段階で遺伝子(DNA)を活性化させ発芽率を向上させます。そして発芽後は元気に生育し、耐病性も向上します。出来た作物は品質も良く、美味しい。(これは遺伝子組み換えではありませんので、くれぐれも誤解のないようにお願いします。)

育成光線放射装置一台(一本)あれば簡単に出来ます。日本の農業革命ともいえるべき農法です。

(株)福島屋グループは担当者が選んだ有機栽培や無農薬の野菜、産地直送の魚など充実した品物が自慢のスーパーです。(株)福島屋グループは『育成光線農法』で栽培された野菜の美味しさを実感されました。そこでグループ会社の(株)ユナイテッドは『育成光線農法』の普及拡大に努めています。

【連絡先】

株式会社ユナイテッド
TEL 042-578-8926

困るときはビニール袋に入れてもOKです。そして30分程度浸漬をします。(育成光線放射装置から水に育成光線エネルギーが転写され、その水からタネにエネルギー転写が行われます。)

そしてタネの遺伝子(DNA)が活性化されます。このタネを撒くことで、発芽初期から収穫期まで安定した生育が期待でき、収穫された作物は元から持っている美味しさにあります。又、肥料は少なく、病害虫の害も少なくなります。

発芽して生育がはじまりましたら、育成光線水を適度に散水します(散水は土壌環境改善になります)。

類の場合も原則的には同じですが、稲以外の穀類は一時間程度浸漬して下さい。

発芽試験



一般栽培 栄養剤使用 育成光線農法

近年各地で、カメムシ、ヨトウムシ、いもち病等々の害が報告されています。原因は地球の温暖化だと言われていますが、これはイオンバランスの変化が原因だと考えております。

『育成光線農法』は防除の予防効果もあると考えています。

最初にご案内しましたが育成光線放射装置を通して0.276nmの超微細な水分子はマイナスイオン水になります。病害虫類は大半がプラスイオンを帯電し、マイナスイオンの環境下では、死滅するか環境移動が起きます。結果として作物への害を防ぐことになり、また水が水ですが、イオン環境の変化で防除対策になります。正に真の機能水です。

またウイルスの不活性化効果試験の結果、PEDウイルスに対し、10分以上の反応で59.3%の不活性化効果が見られた。

この現象は最近解った事で、今後は無農薬栽培が当然のようになると自負しています。

以上のように育成光線放射装置を使うことで、今迄考えられなかった事が簡単にできます。

育成光線放射装置開発者 石井賢司
と遠赤外線の研究 35年
東京都武蔵村山市
TEL: 090-3108-2441
Email: hiet815@gmail.com
問い合わせ先】
IPPORO 株式会社 エコ・サッポロ
TEL 055-0031
道札幌市東区北31条東16丁目2-18
TEL 011-206-6606
http://www.eco-sapporo.co.jp
育成光線放射装置についての記事

